

報道各位

国土交通省  
文部科学省  
会計検査院  
金融庁  
独立行政法人都市再生機構  
霞が関7号館PFI株式会社

**中央合同庁舎第7号館整備等事業・霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業  
報道関係者用内覧会、竣工記念イベントについて**

江戸時代には大名屋敷が立ち並び、現在は日本の行政の中核機能が集中する「霞が関」に新たな都市空間が誕生します。このたび、霞が関R7プロジェクト（都市再生プロジェクト）が竣工を迎え、国、独立行政法人都市再生機構、霞が関7号館PFI株式会社の共催により、報道関係者用内覧会、竣工記念イベントを、下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

**記**

**報道関係者用内覧会**

1. 日 時  
平成19年10月 1日（月） 10:00～12:00
2. 受 付  
中央広場側共用エントランス前（別添案内図参照）
3. 内覧場所  
東館（大臣室、院長室）、西館（大臣室、霞山会館）、旧文部省庁舎（復元大臣室）外  
（内覧場所の詳細は当日受付で配布します）
4. 主 催 者  
国土交通省、文部科学省、会計検査院、金融庁、独立行政法人都市再生機構、  
霞が関7号館PFI株式会社

**竣工記念イベント**

1. 日 時  
平成19年10月 2日（火） 13:00～17:30  
13:00～13:30 竣工式神事  
場所 西館（霞が関コモンゲート西館）24階  
14:00～14:45 竣工記念式典  
場所 中央合同庁舎第7号館 3階講堂  
14:45～15:30 内覧会  
場所 霞が関コモンゲート  
16:00～17:30 竣工祝賀会  
場所 ホテル ニューオータニ 鶴西の間
2. 取材受付  
各イベント会場前（別添案内図参照）
3. 内覧場所  
東館（大臣室、院長室）、西館（大臣室、霞山会館）、旧文部省庁舎（復元大臣室）外  
（内覧場所の詳細は当日受付で配布します）
4. 主 催 者  
国土交通省、文部科学省、会計検査院、金融庁（ ・ ）  
独立行政都市再生機構（ ・ ・ ）  
霞が関7号館PFI株式会社（ ・ ・ ・ ）
5. 問合せ先  
霞が関7号館PFI株式会社 竣工記念イベント事務局  
担当：木村・広井（SPC構成員 大成建設株）  
電話：03-5510-5251

以 上

**中央合同庁舎第7号館整備等事業・霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業**  
**竣工記念イベント 次第**

竣工式神事 13:00～13:30  
場所：西館（霞が関コモンゲート） 24階

竣工記念式典 14:00～14:45  
場所：中央合同庁舎第7号館 3階講堂

- 開 式
- 主催者代表式辞 国土交通大臣
- 挨拶 文部科学大臣
- 挨拶 内閣府特命担当大臣（金融）
- 挨拶 会計検査院長
- 挨拶 独立行政法人都市再生機構 理事長
- 来賓祝辞 地方・都市格差是正担当大臣
- テープカット
- 閉 式

テープカッター

- 1 地方・都市格差是正担当大臣
- 2 国土交通大臣
- 3 文部科学大臣
- 4 内閣府特命担当大臣（金融）
- 5 会計検査院長
- 6 財団法人霞山会 筆頭常任理事
- 7 住友不動産株式会社 代表取締役社長
- 8 独立行政法人都市再生機構 理事長
- 9 S P C 代表企業（新日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長）
- 10 S P C 設計企業代表（株式会社久米設計 代表取締役社長）
- 11 S P C 建設企業代表（大成建設株式会社 代表取締役社長）
- 12 S P C 維持管理運営企業代表（東京建物株式会社 代表取締役社長）

内覧会 14:45～15:30  
内覧箇所：東館  
西館  
旧文部省庁舎  
アネックス

竣工祝賀会 16:00～17:30  
場所：ホテル ニューオータニ 鶴西の間

**中央合同庁舎第7号館整備等事業・霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業  
報道関係者用内覧会及び竣工記念イベントの取材について**

標記について、下記により取材くださるようご協力願います。

記

**報道関係者用内覧会**

日 時：平成19年10月1日(月) 10:00～12:00

集合場所：霞が関コモンゲート/中央合同庁舎第7号館 中央広場側共用エントランス前  
千代田区霞が関3丁目2番

主 催 者：国土交通省、文部科学省、会計検査院、金融庁、独立行政法人都市再生機構、  
霞が関7号館PFI株式会社

**報道受付**

- (1) 報道関係者の受付は、当日霞が関コモンゲート/中央合同庁舎第7号館 中央広場側共用エントランス前(別添案内図参照)受付で行ないます。
- (2) 受付は当日9:00～9:45までの間に済ませてください。受付の無い方は当日内覧会には参加できませんので、ご了承ください。
- (3) 受付の際は身分証明書をご提示ください。また名刺を1枚提出ください。  
受付後に渡される報道関係者ネームプレートは内覧会終了時まで着用し、自社腕章も必ず着用願います。

**竣工記念イベント**

日 時：平成19年10月2日(火) 13:00～17:30

場 所：霞が関コモンゲート/中央合同庁舎第7号館 他  
千代田区霞が関3丁目2番1～3号 他

主催者：国土交通省、文部科学省、会計検査院、金融庁、独立行政法人都市再生機構、  
霞が関7号館PFI株式会社( イベントにより主催者は異なります )

**報道受付**

**竣工式神事**

報道関係者の受付は当日、西館(霞が関コモンゲート西館)24階で行ないます。  
受付時間は当日12:00から12:40までの間に済ませて下さい。

**竣工記念式典、内覧会**

報道関係者の受付は当日、中央合同庁舎第7号館3階講堂で行ないます。受付時間

は当日12:30から13:40までの間に済ませてください。尚、神事から取材継続される方は、受付は結構です。( 神事の受付はこちらでは致しません )

#### 竣工祝賀会

報道関係者の受付は当日、ホテル ニューオータニ 鶴西の間前で行ないます。受付時間は当日15:00から16:00までの間に済ませてください。竣工式神事、竣工記念式典・内覧会とは別の受付となります。竣工式神事、竣工記念式典・内覧会から取材継続される方も再度受付をお願いします。

#### 受付における共通事項

- ( 1 ) 各所受付を必ず済ませてください。受付の無い方は当日の取材ができませんので、ご了承ください。
- ( 2 ) 受付の際は身分証明書をご提示ください。また名刺を1枚提出ください。受付後に渡される報道関係者ネームプレートは取材終了時まで着用し、自社腕章も必ず着用願います。
- ( 3 ) 取材は所定範囲内( 当日の受付時に範囲図をお渡し致します )でお願い致します。
- ( 4 ) ムービーカメラによる取材は 竣工記念式典・内覧会、 竣工祝賀会 それぞれにて1社1カメラでお願い致します。( ムービーの助手は1名まで ) 尚、 竣工式神事のムービーカメラによる取材はお断り致します。
- ( 5 ) 各取材位置での脚立・三脚は使用できます。( 取材台等はありません )
- ( 6 ) 竣工記念式典の取材者は当日13:00までにカメラ等の設置を終えて下さい。
- ( 7 ) 各取材位置間では、係員の指示に従い静粛に行なって下さい。
- ( 8 ) 喫煙は所定の場所以外では行なわないようお願い致します。
- ( 9 ) 取材当日は一般者用駐車場はありますが、報道関係者としての確保はできません。ご了承下さい。
- ( 10 ) 取材についての問合せ先

霞が関7号館PFI株式会社 竣工記念イベント事務局

担当：木村・広井( S P C 構成員 大成建設株 )

電話：03 - 5510 - 5251

## 【添付資料】

### <施設紹介>

国、独立行政法人都市再生機構、霞が関7号館PFI株式会社(SPC)、および地権者等が東京都千代田区霞が関三丁目において進めてきました霞が関R7プロジェクト(「霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業」及び「中央合同庁舎第7号館整備等事業」)は本年10月2日に竣工を向えることになりました。

## 霞が関R7プロジェクトの概要

### <事業概要>

#### 1. 霞が関R7プロジェクトの位置付け

国の都市再生プロジェクト(平成13年6月第一次決定)を契機として、文部科学省および会計検査院のPFI手法による建替えと、これらの官庁施設を含む街区全体の再開発とを行うものです。

本プロジェクトは、独立行政法人都市再生機構が施行する「霞が関三丁目南地区第一種市街地再開発事業」と国が実施するPFI事業「中央合同庁舎第7号館整備等事業」とが一体的に進められた官民協働のプロジェクトです。

#### 2. 市街地再開発事業の概要

霞が関三丁目南地区まちづくり協議会によるまちづくり提案を踏まえて決定された霞が関三丁目南地区地区計画に沿って、地区の中央に緑豊かな広場を配し、これに面して、主に国の施設となる東館、官民共同ビルとなる西館の2つの超高層ビルが建設されます。また外堀通り沿いには、旧文部省庁舎の一部が保存されるほか、広場と一体となって街の賑わいを演出する商業や情報発信・交流等の機能を担う低層の施設となるアネックスを配置しています。

#### 3. PFI事業の内容等

中央官庁の庁舎である中央合同庁舎第7号館については、平成14年7月にPFI事業として実施することが決定された後、民間事業者の選定手続きを経て、新日本製鐵グループが選定され、平成15年6月に国と新日本製鐵グループが設立したSPCとの間で事業契約が締結されました。PFI事業はBTO方式で行われ、SPCは中央官庁の庁舎として必要な性能を有する施設として、中央合同庁舎第7号館の設計・建設を行うとともに、平成33年度まで施設の維持管理・運営を担当します。また、SPCはPFI事業の付帯事業として民間収益施設を自ら設計・建設し、平成46年度まで所有・運営します。

< 計画概要 >

・敷地概要

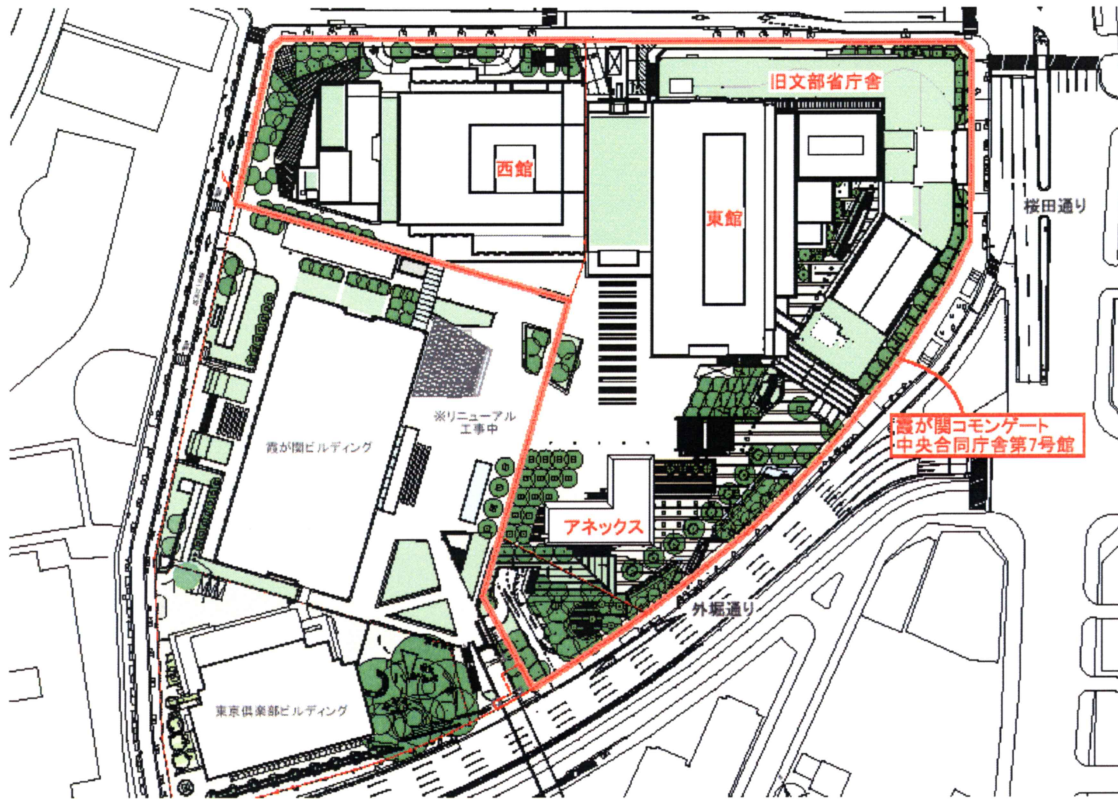
所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号～3号
敷地面積	24,232.08 m <sup>2</sup>
用途地域	商業地域・防火地域
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 霞が関三丁目南地区再開発等促進区を定める地区計画</li> <li>・ 一団地の官公庁施設</li> </ul>
容積率	950%

・建物概要

地区名称 ( )	霞が関コモンゲート			
施設名称	東館	西館	旧文部省庁舎	アネックス
構造	S造・一部SRC造	S造・一部SRC造	SRC造	S造
規模	地下2階 地上33階	地下3階 地上38階	地上6階	地上2階
最高高さ	約156m	約176m		
容積率	950%			
延床面積	約251,000 m <sup>2</sup>			
	約114,600 m <sup>2</sup> 文部科学省 会計検査院	約118,700 m <sup>2</sup> 金融庁 民間取得床 財団法人霞山会 住友不動産株式会社 霞が関開発特定目的会社 霞が関7号館PFI株式会社	約16,800 m <sup>2</sup> 文部科学省 文化庁	約900 m <sup>2</sup> 民間取得床 霞が関7号館PFI株式会社

文部科学省、会計検査院、金融庁などの国の機関が入居する部分は「中央合同庁舎第7号館」と称します。

<配置図>



<外観パース>



### <事業の経過・予定スケジュール>

平成13年	6月14日	都市再生プロジェクト（第一次決定）
平成15年	4月24日	PFI事業落札
平成15年	5月9日	落札者と国の基本協定締結
平成15年	6月30日	市街地再開発事業の施行認可 PFI事業者と国の事業契約締結
平成16年	12月20日	市街地再開発事業の権利変換計画認可
平成17年	1月7日	工事着工
平成19年	9月28日	施設の竣工・引渡し（一部外構工事を除く）
平成20年	1月	官庁施設の使用（PFIによる維持管理・運営業務）開始
平成20年度		工事完了
平成34年	3月	PFI事業の終了
平成46年度		PFI事業の付帯事業（民間収益施設事業）の終了

### <事業関係者一覧>

[国] 国土交通省、文部科学省、会計検査院、金融庁

[民間地権者] 財団法人霞山会、住友不動産株式会社

[市街地再開発事業の施行者] 独立行政法人都市再生機構

[PFI事業者] 霞が関7号館PFI株式会社

出資企業：新日鉄エンジニアリング(株)、大成建設(株)、東京建物(株)、豊田通商(株)、  
三菱商事(株)、(株)久米設計、(株)ハリマビステム、公共建物(株)、  
日本土地建物(株)、(株)トーエネック、日本電設工業(株)、ダイダン(株)、  
斎久工業(株)、三菱重工パーキング(株)、ネットワークシステムズ(株)、  
(株)新日鉄都市開発

協力企業：東京不動産管理(株)、(株)東京建物アメニティサポート、総合警備保障(株)、  
(株)全日警

[保留床取得者] 霞が関開発特定目的会社

出資企業：東京建物(株)、公共建物(株)、豊田通商(株)、(株)新日鉄都市開発、  
日本土地建物(株)



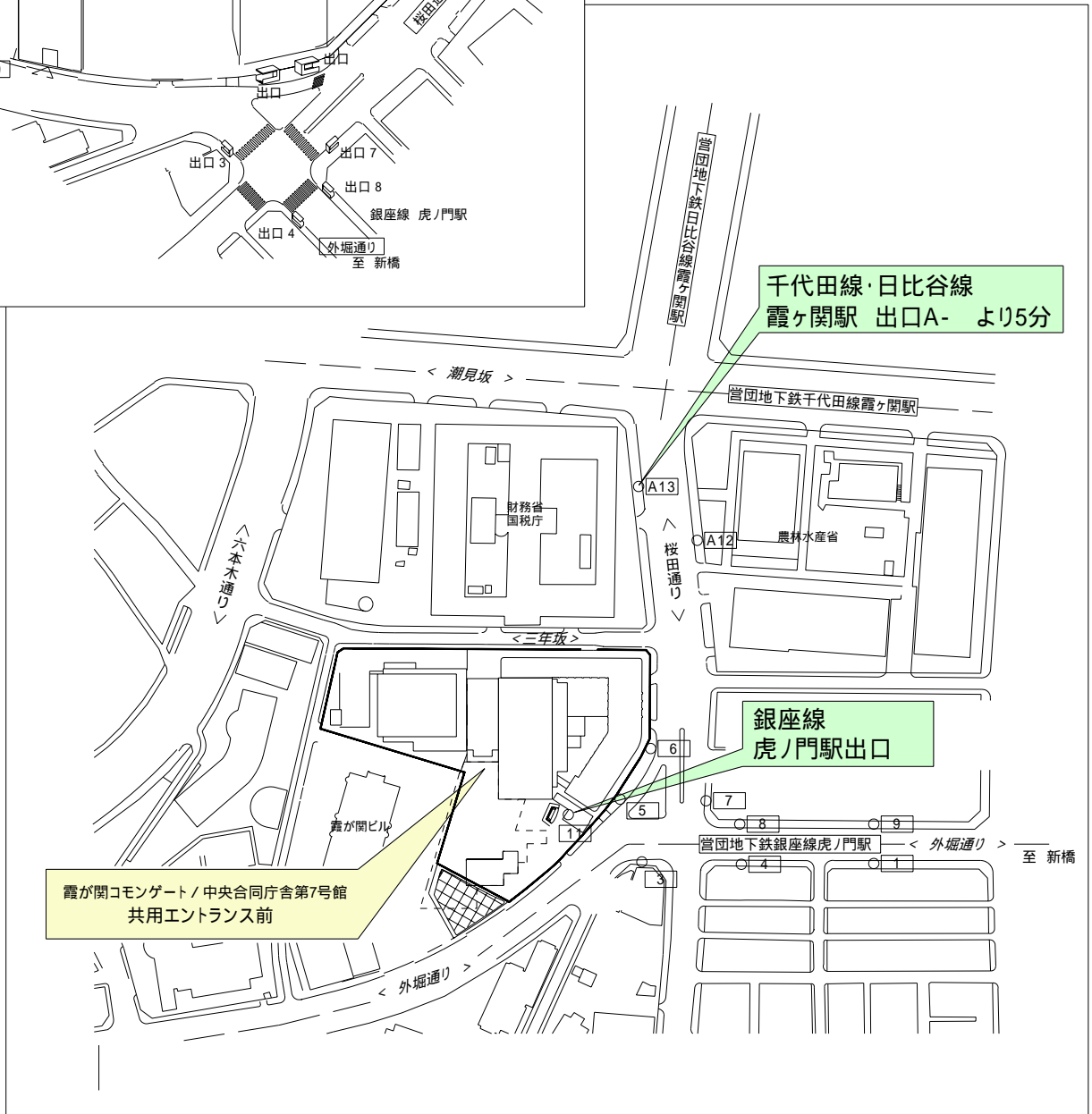
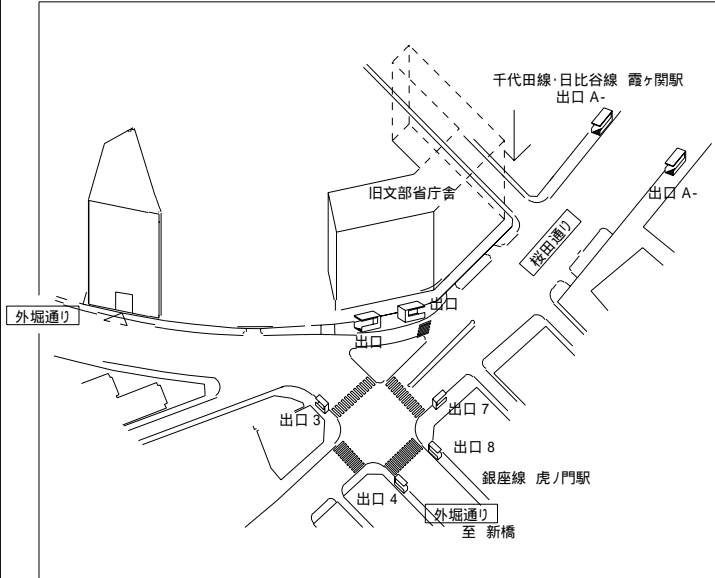
# 報道関係者用内覧会

開催日 : 10月 1日 (月)  
受付時間 : 9:00 ~ 9:45

## 集合場所住所

千代田区霞が関3-2

霞が関コモンゲート / 中央合同庁舎第7号館  
中央広場側共用エントランス前



霞が関コモンゲート / 中央合同庁舎第7号館  
共用エントランス前

# 竣工記念イベント

開催日：平成19年10月 2日

